

# 索道事業安全報告書（2007年度）

日本スキー場開発株式会社  
サンアルピナ鹿島槍スキー場



- 第1 クワッドリフト
- 第2 ペアリフト
- 第3 クワッドリフト
- 第5 ペアリフト
- 第6 クワッドリフト
- 第7 ペアリフト
- 第8 ペアリフト
- 第10 ペアリフト

## 1. サンアルピナ鹿島槍スキー場ご利用の皆様へ

いつもサンアルピナ鹿島槍スキー場をご利用いただき誠にありがとうございます。

また、当スキー場索道事業に対してご理解いただき誠にありがとうございます。

当社はスキー場、利用者、そして地域社会のすべてがハッピーとなるようなスキー場運営を行なっております。その上で、スキー場の運営に関するあらゆる問題を解決し、非日常的な時間と空間を演出することにより、一人でも多くの方に自然の素晴らしさ、ウィンタースポーツの楽しさを味わって頂くことを最大の使命としています。これらのすべてにおいてその基礎は『安全確保』がキーワードとなっております。

本報告書は鉄道事業法に基づき、輸送の安全確保のための当スキー場の取り組みや安全の実態について当スキー場をご利用の皆様や近隣の皆様にご理解いただくために作成いたしました。また、皆様からのご意見を当スキー場索道事業の安全輸送に役立てたく、頂戴できれば幸いです。

日本スキー場開発株式会社  
サンアルピナ鹿島槍スキー場  
代表取締役社長 氏家太郎

## 2. 安全基本方針と安全目標

### 安全基本方針

当社の企業理念として、人命を尊重し、安全と健康を重視することを掲げております。さらに当スキー場の経営理念の第一は安全確保にしております。当社役員は安全第一の意識をもって索道事業活動を行える体制の整備に努めるとともに、索道施設及び職員を総合活用して輸送の安全を確保するため『安全基本方針』を次のように掲げております。

- (1) 一致団結して輸送の安全の確保に努めます。
- (2) 輸送の安全に関する法令及び関連する規程をよく理解するとともにこれを遵守し、厳正、忠実に職務を遂行します。
- (3) 常に輸送の安全に関する状況を理解するように努めます。
- (4) 職務の実施に当たり、推測に頼らず確認の励行に努め、疑義のある時は最も安全と思われる取扱いをします。
- (5) 事故・災害等が発生したときは、人命救助を最優先に行動し、速やかに安全適切な処置をとります。
- (6) 情報は漏れなく迅速、正確に伝え、透明性を確保します。
- (7) 常に問題意識を持ち、必要な変革に果敢に挑戦します。

### 安全目標（2006年度）

当社では2006年9月に当スキー場を取得し、全社一丸となった安全管理体制の強化を推

進していますが今年度は残念ながら索道人身障害事故が 2 件発生いたしました。これら事故の再発防止として社長をトップに改善策を検討し、対策を講じました。今後においても、全社一丸となった安全最優先の意識の高揚を図って参ります。

また、実際に発生した事故のみではなく、危険の予知・予測、事故には至らなかった事例を漏れなく収集し、他の事故情報と比較して対策を講じる体制を整備いたします。

#### 索道輸送安全目標（2006～2008 年）

目標 1 : 人身障害事故発生 0 件

目標 2 : 索道保安設備から起因する事故 0 件

目標 3 : 索道スタッフの不安全行動から起因する事故 0 件

### 3. 事故等の発生状況とその再発防止措置

#### 索道運転事故 1

2007 年 1 月 7 日（日）19 時 50 分頃第 2 ペアリフトにおいて、乗客 2 名が乗車した搬器が支柱手前で突風（30m/s 程度と推定）に煽られ、乗客のスキーが支柱に接触。搬器が傾き、乗客 2 名が搬器から約 8m 下の未圧雪エリアに落下して負傷しました。

負傷したお客様には深くお詫び申し上げます。

事故発生前、風速計は 5～8m/s を指していましたが事故発生の瞬間は 30m/s 付近を指していました。強風による自動運行停止は 15m/s に設定されていましたが、突風による緊急停止で搬器を制止することができませんでした。

再発防止策として、1. 天気図から強風が予測される場合及び強風注意報発令時は气象台等からの状況把握及び情報収集等を行い、各索道へ情報を提供して注意喚起を図るとともに、早期の休止判断をいたします。2. 強風時の運転対処や休止判断のため、風の強さ・方向・搬器の揺れ・周辺状況の確認等を明文化し、索道スタッフに周知徹底し、強風時の運転取扱いについてトレーニングいたします。また、当該付近の観測設備・防風ネットについて適切な改良を検討いたします。

#### 索道運転事故 2

2007 年 3 月 8 日（木）13 時 30 分頃第 10 ペアリフト山頂停留場下り線側において、山頂停留場スタッフがスノーダンプで除雪作業中に後方から来た搬器に接触しステージから落下して負傷しました。

当該索道は上り線営業運行のみで山頂停留場には上り線側には転落防止ネットが設置されていましたが下り線側は非設置でした。

再発防止策として、下り線側の除雪作業及び侵入が必要な作業を禁止いたします。また下り線側の作業が必要な場合は運行停止してから山麓停留場と連絡をとり、行なうことといたします。さらに山頂監視 1 名体制の場合、原則作業禁止としスタッフの安全作業・危

険予測に関する教育を徹底いたします。下り線の転落防止ネットの設置を検討いたします。

#### 4. 索道輸送の安全確保に関する当スキー場の取組み

##### 索道スタッフ教育

索道安全運行マニュアルを作成し新人研修およびシーズン開始時に安全運行に関する研修・救助訓練を実施しています。



##### お客様の安全対策

場内注意喚起掲示板の設置数を増加しています。

##### 緊急時の対応訓練

索道運行停止時の救助訓練を実施しています。

##### 緊急時に連携をとる近隣救急施設

大町消防署

大町総合病院

##### 索道保安設備の維持管理・改修

整備細則に基づき点検、整備及び検査を実施しました。

今年度の各リフトは主に以下の整備を実施しました。

第1 クウッドリフト場内押送ギアボックスオーバーホール・制動機オーバーホール

第2 ペアリフト支えい索交換

第3 クウッドリフト索受・索輪交換

第5 ペアリフトユニバーサルジョイントオーバーホール

第6 クウッドリフト制動機オーバーホール・支えい索切詰め・握索機3年検査

第7 ペアリフト電動機オーバーホール

第8 ペアリフト索受・索輪交換

第10 ペアリフト索受・索輪交換

また、中長期整備計画を策定し、索道設備の永続的な維持管理に努めています。

## 5. 当スキー場の安全管理体制

平成 18 年 10 月に「安全管理規程」を制定し、社長をトップとする安全管理組織を構築し、各責任者の責務を明確にしています。

社長  
安全統括管理者  
索道技術管理者  
索道技術管理員  
運転係 改札係 乗務係 監視係

社長 輸送の安全の確保に関する最終的な責任を負う。  
安全統括管理者 索道事業の輸送の安全の確保に関する業務を統括する。  
索道技術管理者 安全統括管理者の指揮の下、索道の運行の管理、索道施設の保守の管理  
その他の技術上の事項に関する業務を統括管理する。  
索道技術管理員 索道技術管理者の指揮の下、索道技術管理者の行なう業務を補助する。

### 役員による場内巡回

役員が定期的に当スキー場を巡視して、スタッフとの意見交換を通じて安全管理状況を確認しています。

上記の安全管理体制により、安全マネジメントの PDCA サイクル機能の検証、内部監査等を通じて定期的に確認し、その結果により適時改善を行っております。

## 6. 利用者の皆様の連携とお願い

### (1) お客様の声をかたちにしています

場内 3 ヶ所にお客様の声を聞かさせていただけるようご意見箱を設置し、安全やサービスレベルの向上の参考とさせて頂いております。

ご来場の際にお気づきの点がございましたら何なりとお知らせください。

また、当スキー場ホームページ <http://www.kashimayari.net/> でもお待ちしております。

### (2) ゲレンデ内の注意事項とお願い

スキー・スノーボードはもともと雪山の中で大自然と共に楽しむスポーツです。その中には事故につながる恐れのある要素が多くあります。標示のあるなしにかかわらず、スキー場のコース内外の状況をよく判断し、事故を起こさないよう、また自然災害に巻き込まれないよう十分注意して滑走して下さい。

当スキー場では、事故をなくすよう常に努めていますが、安全のために大切なのは、何よりもまずスキーヤー・スノーボーダーの皆様の注意深い行動であることを忘れないで下

さい。

1. 吹雪、強風、雨、霧、雷などの天候にはご注意願います。
2. 急斜面、凸凹、地形にご注意願います。
3. アイスバーン、雪崩など雪の状態にご注意願います。
4. 岩石、立木、自然の障害物への衝突にご注意願います。
5. リフト施設、建物、雪上車輦など人工の障害物にご注意願います。
6. 他のスキーヤー・スノーボーダーとの接触にご注意願います。
7. お客様に合ったコースを選び怪我には十分ご注意願います。
8. スキー場内では、パトロール、係員の指示や忠告に従って下さい。
9. 当スキー場管理区域外での滑走は責任を負いかねます。
10. 当スキー場ではこの告知及びスキー場の行動規則の無視、軽視による事故には責任を負いかねます。
11. 他人に迷惑を与えるスキーヤー・スノーボーダーには退場していただく場合があります。

### (3) リフト乗降時の注意事項

リフト乗車時のご注意を各リフトのゲート付近に設置いたしました。

リフトご利用の際には係員の誘導に従い、落ち着いてご乗車下さいますようお願い申し上げます。

## リフトご利用の皆さま

お客様の行動は、お客様と他のお客様全員の安全に関わっています。リフトの利用にあたっては、責任と義務がともないます。次のことを守ってください。

### <乗車時>

1. リフト利用に不安な方は、申し出てください。
2. 「のりば」の表示位置でスキー、ボードを正しく前に向けて待機してください。
3. 乗れなかったら、直ぐにリフトから離れてください。
4. スキーヤーは、ストックがとなりの人の迷惑にならないように注意してください。
5. リュック等はヒザにのせ、衣服等のヒモにも注意してください。
6. ボーダーは、流れ止めをつけ、ハイバックをたたんでください。

### <乗車中>

1. 深く腰をかけてください。
2. 乗っている時は、次のことを行わないでください。
  - (1) イスを揺らすこと。
  - (2) イスから飛び降りること。
  - (3) イス上でふざけたり、後ろを向いたりすること。
  - (4) ストック等で柱などにさわること。
3. リフトが止まっても飛び降りないでください。

### <降車時>

1. 「おりば」が近づいたら降りる準備をし、降りた後はまっすぐ進んでください。
2. 降りられなかったら、そのままイスに座っててください。

**係員の指示に従ってください。**

## 7. ご連絡先

本報告書へのご感想、当スキー場への安全に関する取組みに対するご意見をお待ちしております。

〒398-0001

長野県大町市平鹿島槍黒沢高原

サンアルピナ鹿島槍スキー場

索道お客様係

Tel 0261-23-1231 Fax 0261-22-2065

E-mail [kashimayari@kashimayari.net](mailto:kashimayari@kashimayari.net)